

# 令和7年度事業報告書

令和8年6月

社会福祉法人同仁会

玉野市木目1461番地

# 令和7年度事業報告書

## 目次

1	社会福祉法人同仁会	P. 1
2	障害者支援施設のぞみ園	P. 10
3	短期入所事業所のぞみ園	P. 16
4	共同生活事業所のぞみホーム	P. 18
5	グレイス	P. 21
6	フクちゃんのパン屋さん	P. 24
7	地域活動支援センターこだま	P. 27
8	こだまクラブ…（上記に含まれる。）	P. 27
9	相談支援事業所のぞみ	P. 28
10	笑福亭	P. 30
11	エスポアール・セルブ	P. 41
12	エスポアール・スター	P. 45
13	エスポアール・クワノ	P. 51
14	たましま寮	P. 54

# 令和7年度 社会福祉法人同仁会 事業報告書

## 1 事業の概況

### (1) 障害者総合支援法、児童福祉法及び介護保険法等に基づく事業について

事業所名 (サービス種別)	定員 (名)	所在地	事業開始 (定員変更)
障害者支援施設のぞみ園 (障害者支援、生活介護)	80	玉野市木目1461	H01. 04. 01 (50) 重30・軽20 H10. 07. 01 (80) 重60・軽20
短期入所事業所のぞみ園 (短期入所)	8	同上	H02. 04. 01 (2) H10. 07. 01 (8)
共同生活事業所のぞみホーム (共同生活援助)	20	同上	H18. 10. 01
グレイス (生活介護)	20	同上	H16. 04. 01 (25) R04. 02. 01 (20)
フクちゃんのパン屋さん (就労継続支援B型)	20	玉野市長尾184-5	H27. 06. 01
相談支援事業所のぞみ (地域移行支援、地域定着支援、特定相談支援、障害児相談支援)	—	玉野市木目1461	H18. 10. 01
地域活動支援センターこだま (日中一時支援事業含む)	15	玉野市木目 1280-1	H18. 10. 01
こだまクラブ (放課後等デイサービス)	10	玉野市木目 1282-2	H25. 04. 01

笑福亭 (特別養護老人ホーム) (老人短期入所 ※休止)	29 10	岡山市中区桑野 525-125	H24. 07. 01 H24. 07. 01
デイサービスくわの (地域密着型通所介護、介護 予防通所サービス、共生型生 活介護) ※休止	10	同上	R01. 12. 01
ケアプランくわの (居宅介護支援) ※休止	—	同上	R01. 12. 01
エスポアール・セルプ (就労継続支援B型)	35	岡山市北区福谷5 3 番地	H26. 04. 01
エスポアール・スター (生活介護)	37	同上	H26. 04. 01
エスポアール・クワノ (生活介護)	20	岡山市中区桑野 525-126	H27. 05. 01
たましま寮 (救護施設)	40	倉敷市玉島八島 1385-1	R04. 04. 01

## (2) 主な施設設備の整備について

整備内容			経費(千円)
施設	のぞみ園	大規模修繕	58,124
	のぞみ園	大規模修繕(監理)	3,268
	のぞみ園	ビニールハウスビニール撤去	484
	のぞみ園	非常用発電機バッテリー交換	297
	のぞみ園	本館トイレ汚水管修繕	209
	相談支援	事務所修繕	990
	フクちゃんのパン屋	厨房排水桝補修	180
	グレイス	高圧ケーブル更新(監理)	185
	グレイス	水栓工事	110
	たましま寮	1F 2F トイレエアコン設置	2,000
	たましま寮	高圧ケーブル敷設	935
	小計		
設備	のぞみ園	ホンダステップワゴン	3,252
	のぞみ園	TOTOバスリフト	297
	のぞみ園	東館1Fエアコン	129
	のぞみ園	実習生アパート	135
	のぞみ園	本館2Fエアコン	139
	のぞみ園	見守り(超音波)センサー	802
	のぞみ園	シャワー温浴システム	100
	のぞみ園	事務所デスクトップパソコン1台	132
	のぞみ園	本館2Fエアコン	171
	のぞみ園	東館2F廊下エアコン	473
	のぞみ園	洗濯乾燥機修理	241
	のぞみ園	厨房エアコン修理	203
	相談支援	デスクトップパソコン3台	503
	相談支援	トヨタパッソ(H28年式)1台	450
	グレイス	日産キャラバン1台	4,206
	グレイス	空調機1台	627
	グレイス	ノートパソコン3台	609
	グレイス	デスクトップパソコン1台	203
	グレイス	福祉の森増設メモリー	110
	グレイス	音声入力システム	154
	グレイス	ハイエース・キャラバンタイヤ交換	260
	こだまクラブ	デスクトップパソコン1台	177
	ブ	ステップワゴン・ライフ修理	227
フクちゃんのパン屋	デスクトップパソコン1台	330	
フクちゃんのパン屋	デジタル台はかり	113	

フクちゃんのパン屋	電子レジスター	132
笑福亭	タブレット端末6台	303
笑福亭	入居者の生活管理ソフト	520
エスポール・スター	誘導灯LED化	440
	ノートパソコン3台	458
	ホンダステップワゴン	1,350
	日産セレナ	2,943
相談エスポール	エアコン一式	213
エスポール・セル	ノートパソコン1台	160
プ	日産キャラバン	2,771
たましま寮	ミシン (ブラザー)	127
	全自動洗濯機	166
		23,626

合計 90,408 千円

## 2 理事会に関する事項

回	開催年月日	決議事項
1	R07.05.16 提案 R07.05.21 決議	1 次期評議員候補者の選任について 2 次期役員候補者の選任について 3 就業規則の改正について 4 運営規程の改正について
2	R07.06.11 提案 R07.06.11 決議	1 令和6年度事業報告書の承認について 2 令和6年度計算書類（貸借対照表及び収益計算書）及び財産目録の承認について 3 令和6年度第1回評議委員会の招集事項について
3	R07.06.18 提案 R07.06.18 決議	1 代表理事(理事長)の選任について 2 業務執行理事の選任について 3 評議員選任・解任委員会委員の選任について
4	R07.07.15 提案 R07.07.18 決議	1 令和7年度第1次収支補正予算について 2 令和7年度国庫補助による障害者支援施設のぞみ園の大規模修繕工事に係る指名競争入札の実施及び入札結果に基づく工事請負契約の締結について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>3 就業規則の改正について</li> <li>4 短期入所生活介護事業所笑福亭の運営規程の改正について</li> <li>5 令和7年度第2回評議員会の招集事項について</li> </ul>
5	<p>R07.08.18 提案</p> <p>R07.08.22 決議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 笑福亭の中国銀行からの長期借入について</li> <li>2 令和7年度第2次収支補正予算について</li> <li>3 笑福亭の中国銀行からの短期借入について</li> <li>4 生活介護事業所グレイスに係る指定更新申請の提出について</li> <li>5 令和7年度第3回評議員会の招集事項について</li> </ul>
6	<p>R07.12.18 提案</p> <p>R07.12.18 決議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 のぞみ園の大規模修繕にかかる独立行政法人福祉医療機構(WAM)からの借入及び担保提供について</li> <li>2</li> <li>3 令和7年度第3次補正予算について</li> <li>4 定款細則の改正について</li> <li>5 地域密着型特別養護老人ホーム笑福亭の運営規程の改正について</li> <li>6 笑福亭短期入所生活介護事業所(介護予防短期入所生活介護事業所)の運営規程の改正について</li> <li>7 令和7年度第4回評議員会の招集事項について</li> </ul>
7	<p>R08.03.11 提案</p> <p>R08.03.11 決議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度第4次収支補正予算について</li> <li>2 令和8年度事業計画について</li> <li>3 令和8年度収支予算について</li> <li>4 就業規則の改正について</li> <li>5 経理規程の改正について</li> <li>6 地域密着型特別養護老人ホーム給与規程の改正について</li> <li>7 旧自然の森(エスポアール・セルプ、スター、クワノ、たましま寮)の給与規程の改正及びパートタイム労働者就業規則の改正について</li> <li>8 旧自然の森(エスポアール・セルプ、スター)の運営規程の改正について</li> <li>9 笑福亭の中国銀行からの短期借入について</li> <li>10 令和7年度第5回評議員会の招集事項について</li> </ul>

### 3 役員に関する事項

	選任年月日	氏 名	備 考
理事	R07.06.27	山岡 宏行	理事長 (前回選任: R05.06.15)
		宇野 省一	( // )
		遠迫 美由紀	( // )
		濱川 雅夫	業務執行理事 ( // )
		速見 克子	( // )
		三浦 康男	( // )
			※役職開始はR07.06.27から
監事	R07.06.27	池上 茂	前任: 伊東 孝明
	R07.06.27	西村 薫三	(前回選任: R05.06.15)

### 4 評議員会に関する事項

回	開催年月日	決 議 事 項
1	R07.06.27 提案 R07.06.27 決議	1 令和6年度事業報告の承認について 2 令和6年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 3 次期役員(理事及び監事)の選任について
2	R07.07.18 提案 R07.07.24 決議	1 令和7年度第1次収支補正予算について
3	R07.08.22 提案 R07.08.29 決議	1 笑福亭の中国銀行からの長期借入について 2 令和7年度第2次収支補正予算について
4	R07.12.19 提案 R07.12.26 決議	1 のぞみ園の大規模修繕工事にかかる独立行政法人福祉医療機構(WAM)からの借入及び担保提供について 2 令和7年度第3次収支補正予算について

5	R08.03.12	1 令和7年度第4次収支補正予算について 2 令和8年度事業計画について 3 令和8年度収支予算について 4 笑福亭の中国銀行からの短期借入について
	提案	
	R08.03.25	
	決議	

5 評議員に関する事項

	選任年月日	氏名	備考
評 議 員	R07.06.27	新 俊彦	前任：佐藤 陽慈
	R07.06.27	遠藤 弘良	
	R07.06.27	奥池 静雄	前任：柚木 範博
	R07.06.27	綱島 啓司	
	R07.06.27	三宅 和子	前任：多田 勝久
	R07.06.27	三宅 三郎	
	R07.06.27	山上 誠二	

6 法人登記に関する事項

登記年月日	登記事項
R07.06.27申請	資産総額の変更

7 長期借入金に関する事項

借入先：独立行政法人福祉医療機構…①～⑪

トマト銀行…⑭ 中国銀行…⑫⑬⑮⑯

(令和7年度)

借入金	期首残高(円)	利率 (%)	当期減少額(円)	期末残高(円)
① のぞみ園舎増改築資金 借入金 50,000,000円 借入年月日 平成17年8月22日 償還期間 平成18年8月～元金均等20年間 平成20年8月10日まで無利子	2,500,000	1.60	2,500,000 (当期支払利息) 20,000	0
② やまももハウス設置・整備資金 借入金 15,000,000円 借入年月日 平成22年6月11日	264,000	1.50	264,000 (当期支払利息)	0

償還期間 平成22年8月～元金均等15年間			660	
③ 笑福亭新築資金 借入金 253,000,000円 借入年月日 平成24年3月8日 償還期間 平成24年5月～22年間	118,376,000	0.550	13,248,000 (当期支払利息) 616,308	104,880,000
④ のぞみホームスプリンクラー整備資金 借入金 16,800,000円 借入年月日 平成27年8月4日 償還期間 平成27年7月～14年間	6,336,000	0.750	1,188,000 (当期支払利息) 61,252	5,148,000
⑤ 笑福亭デイサービスくわの等開設資金 借入金 32,000,000円 借入年月日 令和01年10月29日 償還期間 令和02年11月～8年間	14,351,000	0.9	3,996,000 (当期支払利息) 109,413	10,355,000
⑥ 笑福亭 経営資金 借入金 38,000,000円 借入年月日 令和04年10月10日 償還期間 令和05年10月～9年間	31,668,000	0.450	4,176,000 (当期支払利息) 14,874	27,492,000
⑦ グレイス 経営資金 借入金 5,600,000円 借入年月日 令和04年10月10日 償還期間 令和05年10月～9年間	4,641,000	0.450	612,000 (当期支払利息) 2,176	4,029,000
⑧ フクちゃんのパン屋さん 経営資金 借入金 2,500,000円 借入年月日 令和04年10月10日 償還期間 令和05年10月～9年間	2,022,000	0.450	264,000 (当期支払利息) 935	1,738,000
⑨ のぞみ園 経営資金 借入金 14,400,000円 借入年月日 令和05年04月18日 償還期間 令和10年04月～10年間	14,400,000	1.550	0 (当期支払利息) 108,000	14,400,000
⑩ エスポール・スター 経営資金 借入金 10,000,000円 借入年月日 令和05年04月18日 償還期間 令和10年04月～10年間	10,000,000	1.550	0 (当期支払利息) 75,000	10,000,000
⑪ エスポール・クワノ 経営資金 借入金 5,000,000円 借入年月日 令和05年04月18日 償還期間 令和10年04月～10年間	5,000,000	1.550	0 (当期支払利息) 37,500	5,000,000
⑫ 笑福亭 経営資金 借入金 10,000,000円	8,497,000	1.340	2,004,000	6,493,000

借入年月日 令和06年07月18日 償還期間 令和06年08月~05年間			(当期支払利息) 165,189	
⑬ たましま寮 経営資金 借入金 20,000,000円 借入年月日 令和06年07月18日 償還期間 令和06年08月~05年間	17,336,000	1.340	3,996,000 (当期支払利息) 203,433	13,340,000
⑭ 笑福亭 経営資金 借入金 40,000,000円 借入年月日 令和06年09月18日 償還期間 令和06年09月~06年間	36,115,000	1.750	6,660,000 (当期支払利息) 569,233	29,455,000
⑮ 笑福亭 経営資金 借入金 20,000,000円 借入年月日 令和06年11月08日 償還期間 令和06年11月~07年間	18,810,000	1.430	2,856,000 (当期支払利息) 246,225	15,954,000
⑯ 笑福亭 経営資金 借入金 50,000,000円 借入年月日 令和06年11月08日 償還期間 令和06年11月~07年間	50,000,000	1.350	4,165,000 (当期支払利息) 369,823	45,835,000
合 計	340,316,000		45,929,000 (当期支払利息) 1,953,713	294,387,000

# 令和7年度 障害者支援施設のぞみ園事業報告書

## I はじめに

令和7年度も、のぞみ園における収支改善と事業内容、地域との交流、連携等について事業を行った。

利用者の希望や要望に十分応えることができるよう、昨年度も個別モニタリング、支援計画の会議及び作成を行った。新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ移行後、利用者の生活スタイルは感染対策を維持し、行動制限をさらに緩和していった。支援計画・モニタリングにおいては昨年引き続き対面での説明会を行い、ご家族との情報交換や、ご本人の意思確認、意思決定支援を一緒に行える機会となった。

地域生活支援の面では、相談支援事業所と連携して施設の専門性や相談機能を地域に生かすために、感染状況を見ながら、短期入所利用時の対応や入所・通所の相談活動にあたった。地域の人々や荘内中学校との行事や、ボランティア活動などでの交流については、流行の状況を見ながら調整していった。職員については、外国人技能実習生、介護特定技能の人材を確保し、利用者サービスの向上に努めた。

## II 事業とその成果

I 支援内容の充実 II 家庭との連携と家族会活動の充実及び地域との交流  
III 環境整備・保健の充実 IV 施設整備 V 職員研修の充実の5点を中心に、職員・利用者・ご家族・後見人が一体となって努力してきた。

## III 入所及び退所状況

令和7年度における退所者は1名。新規入所者は、1名であった。

## IV 具体的な支援内容

令和7年度は、社会参加を目指して、「本人の意思決定を尊重し」、「人権の擁護」を確立しながら生活支援や活動支援にあたり、感染状況を勘案しながら地域交流事業に取り組んだ。

また、各種の領域活動や委員会での利用者支援体制の充実に努めた。

## V 保健衛生

### ○予防医療

項 目	実 施 内 容
健康診断	胸部レントゲン撮影・心電図 血液一般・検尿他 (年1回)
内科検診	4月11月 (年2回)
精神科検診	6月10月2月 (年3回)
歯科検診	
結核予防	胸部レントゲン検査 (淳風会検診車12名 主治医 その他医院67名)
身体計測	年1回 体重 毎月

平熱・血圧測定 成人病検診 その他	随時 基本健康診査・胃癌・大腸癌・子宮癌・乳癌・肺癌 ・感染症予防対策 ワクチン接種（インフルエンザ79名） イソジンによるうがい 手指消毒 ・微酸性水による加湿 ・特別汚染場所の消毒 ・個別健康記録の作成 ・感染症マニュアル（特に新型コロナウイルスを中心に） ・通院予定表の作成 ・レジオネラ菌検査 7月
-------------------------	--

○通院状況（別紙参照）

## VI 防災教育

### 1, 総合防災訓練の実施

実施日	訓練内容	参加人数
8/27	消火訓練・通報訓練・避難訓練	100人
9/9	日中活動班別避難訓練	各作業班
R8/3/25	夜間想定避難訓練	81人
/		

※ 8/27 の訓練については、消防署立ち会いの下に実施し、指導を受けた。

### 2, 新人職員教育の実施

- ・防災関連の指導・説明会の実施（8/27の総合防災訓練時）
- ・操作機器の取り扱い訓練の実施（8/27の総合防災訓練時）

### 3, その他

地震防災計画の作成・感染症流行時の事業継続計画（BCP）の作成・訓練・研修を行った。

## VII 給食 別紙－参照

### VIII リスク管理 苦情解決

活動中や生活場面でのリスクを軽減するために、ケガや物損等の事故やヒヤリハットの事例を報告書にまとめ、支援員会議等の機会を設けてケース検討を行った。また、物損事故等があった時にはAIG保険の代行を適切に行うことで利用者各自の負担を軽減し、原状回復を図ることが定着してきた。

職員による不適切な支援の苦情をいただき、職員への再研修、指導等を行い、ご家族に納得していただけるようその後の対応についても説明を行っていった。

新型コロナウイルスが第5類に移行したことにより、職員が集まって研修を行うことも増えるように計画していった。感染状況により行えなかった研修もあるが、外部研修の参加も行える回数が増えてきた。

### IX 各種委員会

職員が豊かで暖かい利用者主体のサービスを提供していくために、倫理綱領と行動規範の周知徹底を図った。

障害者虐待防止法の施行により、虐待防止委員会、研修の開催が義務に移行したため、人権や虐待に対する意識を高められるよう共同の学習会を持ち、職員の啓発活動を行った。虐待防止委員会、身体拘束防止検討委員会、感染対策委員会は定期的に行った。

障害者の権利擁護や専門的援助を受ける権利をより充実できるよう研修を通じて支援した。

# 2025年度 通院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	61	50	38	50	55	32	62	18	34	34	58	37	
外科・整形外科	10	13	9	33	22	28	23	27	19	20	16	22	
精神科小児神経科	40	28	23	33	46	32	70	37	40	35	24	34	
耳鼻咽喉科	0	3	3	0	0	0	1	0	1	4	1	0	
眼科	1	10	16	6	4	3	1	4	3	5	4	4	
歯科	2	1	2	0	0	0	1	0	4	3	3	0	
訪問歯科	26	16	30	18	19	19	16	12	26	10	6	25	
婦人科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮膚科	4	8	8	10	9	4	8	1	9	6	10	10	
泌尿器科	1	4	1	5	1	4	1	3	5	1	4	3	
	145	133	131	155	156	122	183	102	141	118	126	135	1647
放射線						2							
						124							

## 入院状況一覧

入院状況一覧			
井戸口緑	R7年3月21日～4月9日	たまの病院	右大腿骨転子部骨折(リハビリ)
井戸口緑	R7年4月30日～5月27日	旭東病院	同上(リハビリ)
采本充代	R7年5月20日～5月30日	労災病院	誤嚥性肺炎
山名武雄	R7年6月12日～6月18日	岡大付属病院	左白内障
井戸口緑	R7年10月28日～12月8日	由良病院	薬併せ
赤尾伸明	R8年1月19日～1月25日	スイートホスピタル【死亡】	心不全・肺炎
安東摩成	R8年2月10日～2月24日	岡山日赤病院	両側多発肋骨骨折・右肺気胸
			上記手術
			左鎖骨骨折
安東摩成	R8年2月24日	たまの病院	転院するが当日強制退院

# 令和7年度 給食

## 1 給与栄養目標量及び給与栄養量

栄 養 素 名	1日1人当たり 給与目標量	1日1人当たり 給与栄養量
エネルギー (K c a l)	2000	2062
たん白質 (g)	75.0	77.7
脂質 (g)	55.5	51.8
カルシウム (m g)	750	818
鉄 (m g)	7.5	12.5
ビタミンA (μ g R E)	900	1131
ビタミンB1 (m g)	1.50	1.49
ビタミンB2 (m g)	1.68	1.84
ビタミンC (m g)	100	95

## 2 給食数 (月延べ食数)

月	食数 (食)	月	食数 (食)
4月	10,966	11月	10,934
5月	10,996	12月	11,006
6月	10,879	1月	10,516
7月	11,120	2月	10,086
8月	10,862	3月	11,023
9月	10,855	年間給食数	130,610
10月	11,367	前年度との比較	0.3%減

## 3 行事食

行 事 名	内 容 等	食数 (食)
花見	花見弁当	106
還暦祝い	長寿祝い膳	6
クリスマス会	パーティランチ	105
新年会	お祝い膳	106
誕生日会 (毎月)	選択メニュー	92
のぞみ園での調理食数		415

# 令和7年度 短期入所事業所のぞみ園事業報告書

## 1. 目的

この事業は、地域で生活する障害者に対して、法の理念に基づき、障害者が必要なときに必要なサービス「知的障害者短期入所事業」を提供し、利用する障害者が有効に施設を活用し、豊かな生活が継続できるように提供していくことを目的とした。

短期入所の利用については利用者個々のニーズに応じて本体施設であるのぞみ園の作業や余暇、文化活動等に参加したり、通い慣れた日中活動事業所へ通所してもらうなど柔軟に対応していくことにより、日常生活の充実を図っていった。夜間においては個々の利用者のニーズを把握し、適切な対応をしていきながら、利用者の生活スタイルを尊重し、利用する人が満足できるようサービスを提供した。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、行動制限についてもさらに緩和されていった。それに伴って、今まで通りの感染予防対策は継続しながら、受け入れを拡大していった。

## 2. 職員

日々の運営は、施設長を中心に生活支援員、作業指導員、介助員、医師、看護師、栄養士、調理員、事務員が力を合わせて24時間体制で利用者の支援や指導にあたった。

職員は、①人間愛に満ち、思慮深い人であること、②自己に厳しく、向上心に燃えた人であること③健康で明朗な人、の3点の目標を持って日々の支援や指導にあたった。

短期入所を利用する方への社会参加や自立支援に貢献し、また、在宅障害者への支援を図ってきた。

## 3. 支援・訓練と援助サービスの具体的方針と内容

在宅サービス実施に伴う支援体制をすすめるため、令和7年度も相談支援専門員と連携した。

障害者総合支援法の改正を受けて、市町村とのより一層の連携に努めるとともに、一人でも多くの利用者の社会参加と生活の安定を目指した。

また、本人や家族の希望や留意事項について、本人、家族の意向に添えるよう図った。

## 4. 防災

のぞみ園の防災体制に則り、別途定めた防災及び消防計画に基づいて、特に地震、火災に対する安全管理に努めた。

リスクマネジメント委員会を設置し、事故防止に努めるとともに、被害管理にも努めてきた。また、感染症対策として、インフルエンザ対策及び新型コロナウイルス対策を行った。

## 5. 給食（給食委員会）

食生活は、単に健康の維持・増進ばかりでなく、嗜好を満たし、精神的満足感が得られることから、利用者個々が豊かな食生活を送れるようなサービスの提供に努めた。また、障害の状態に応じて個人の食形態も柔軟に対応した。

## 6. 各種委員会

職員が豊かで暖かい利用者主体のサービスを提供していくために、倫理綱領と行動規範の周知徹底を図った。

障害者虐待防止法の施行により、虐待防止委員会、研修の開催が義務となり、人権や虐待に対する意識を高められるよう共同の学習会を持ち、職員の啓発活動を行った。

障害者の権利擁護や専門的援助を受ける権利をより充実できるよう研修を通じて支援した。

令和7年度月別延べ利用実績（単位 上段＝実人数 下段＝延べ利用日数）

※令和7年度は、感染状況を把握し、予防対策を従来通り行いながら受け入れを行っていった。利用数は、昨年度より増加した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	6	7	6	8	5	8	7	7	5	5	5	76
56	54	50	56	58	52	61	56	57	51	38	18	607

# 令和7年度共同生活事業所のぞみホーム事業報告書

## 1, 共同生活援助事業所のぞみホームの運営・設置場所

### ① もくめハウス

所在地 玉野市木目1282-1  
定員 7名  
在籍者数 7名(7名)

### ② さくらハウス

所在地 玉野市八浜町大崎953  
定員 4名  
在籍者数 4名(4名)

### ③ 未来ハウス

所在地 玉野市用吉1777-53  
定員 4名  
在籍者数 4名(4名)

### ④ やまももハウス

所在地 玉野市八浜町大崎955  
定員 5名  
在籍者数 5名(5名)

※ ( ) 内の数字は前年度利用者在籍数。

## 2, 概況

令和7年度も、利用者一人一人が健康で豊かな自立した地域の一員として 社会生活を送れるようにするため、共同生活事業所のぞみホームは現在4棟のグループホームでそれぞれ入居者の能力等に応じて日常生活に必要な介助・援助・相談支援・各種手続き等を行い、地域生活を送る上で各連機関と連携し、支援を行った。

## 3, 利用者への支援

### (1) 食事提供(基本的に朝～夜)

栄養管理、買い物、食事準備、食堂・台所・食器・食材等の管理および援助を行った。令和6年度も栄養管理とともに衛生面や利用者個々の健康の維持増進のため、地域の食材宅配サービスを利用し、調理・提供することで目的に対する効果が確認できた。

### (2) 金銭出納に関する支援

負担金の徴収、管理支払等を行い、個別の金銭出納帳のチェック代行および自己管理の援助を行った。

### (3) 健康管理

服薬、通院、受診の助言・同伴、朝夕の健康チェックを行い、バックアップ施設の医務や嘱託医師と連絡を取りながら疾病の予防・経過観察・治療等の援助を行った。

### (4) 日常生活上の介護、援助、相談、助言などを行った。また新型コロナウイルスの流行に伴い、従来の住環境の整備・消毒を行うとともに物品の補充と管理、生活用品購入の代行等を行った。

### (5) 家庭との連携

定期的な帰宅および盆休みや正月休み等の帰省の際に、日頃の暮らしぶりや最近の様子などを伝え、家族との連携に努めた。また、家族からの支援が困難な利用者は、後見人と協力して、必要な手続き等を行った。

### (6) 余暇支援や趣味の提供

地域の行事や活動支援センター等に参加し、余暇利用への支援を行った。また、スタッフとの外出なども適宜行った。

### (7) 放浪癖のある利用者および発達障害者の方への支援

放浪癖のある利用者への支援について、日頃から放浪への意識の軽減を図り落ち着いて生活出来るよう支援を行った。発達障害を持つ利用者に対しては、引き続き安定した就労ができるように職場や家族と情報共有を図ったり、家族の協力を得てかかりつけの病院での心理カウンセリング等を受けたりするなど、情緒の安定等に努めた。

### (8) その他

行政機関等との連絡調整、職場訪問の実施を適宜行った。

## 4, 運営主体及びバックアップ施設・日中活動施設との連携

各事業所間で連絡を密にして、利用者一人一人の活動予定を把握していき、スムーズな活動参加ができるように支援を行った。

## 5, 地域との関係

町内会等の行事(クリーン作戦など)には積極的に参加し、地域の交流に努めた。また、各ハウスでの状況に応じた想定で防災訓練を行った。

## 6, 防災計画

夏季に日中と夜間、冬季に早朝、日中の避難訓練を各ハウスで行った。

## 7, 日課

午前	6時30分	起床	洗面	朝食準備
	7時	朝食	片づけ	
	8時30分	出勤		
	9時	一般就労、各日中活動事業所で活動		
午後		作業に参加		
	4時	それぞれのハウスへ戻る		
	5時	帰宅	夕食準備	
	6時00分	夕食		
	8時	入浴	団らん	
	10時	就床		

## 8, 協力医療機関

総合	玉野市民病院
精神科	由良病院 青井医院
内科	竹原内科医院 三宅内科外科医院
外科	たまメディカルリハビリテーションクリニック 三宅内科外科医院
眼科	井上眼科
歯科	谷歯科医院

これらの協力医療機関と連携を図り、利用者の健康管理や、情緒の安定に努めた。

## 9, その他

- ① 安定した自立生活に向け、支援者(保護者)やバックアップ施設のぞみ園、それぞれの日中活動事業所との連携に努めた。
- ② 各ハウスの入居者のサービス提供状況・支援内容の検討を毎月スタッフ会議で行い、支援につながるように配慮した。また、個別でのこまかな支援や入居希望者の支援計画が必要な際は、関係者が集まって随時ケア会議を開催し、支援についての意見交換、検討を行った。
- ③ ハウス敷地内の草刈りなど環境整備に努めた。
- ④ 障害者虐待防止のための資料の提示、感染症対策等を行った。
- ⑤ 利用者定員枠一杯で通年運用の結果、経営財政上はやや持ち直したが以前厳しい状態が続いている。今後は加算内容の変更や人件費を含む諸経費の見直しについて改めて検討が必要との確認ができた。

# 令和7年度 グレイス（生活介護事業所）事業報告書

## 1 事業の目的と運営

障害者総合支援法に基づき、利用者の意思決定を尊重し、生きがいを持って生活することができるよう療育活動、作業、創作、身辺介助、相談援助、健康管理、食事提供等を行った。

## 2 運営の実績

### (1) 令和8年3月の障害支援区分（入所者1人、退所者1人）

区分4	区分5	区分6	合計
1人	7人	11人	19人

### (2) 利用状況及び延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
開所日数（日）	23	23	23	24	20	22	24	21	22	22	21	24	269
延利用者	389	365	388	382	313	359	393	335	356	345	310	375	4,310

利用率80.1%（延べ利用者数÷定員÷開所日数×100）

### (3) 利用者支援の実績

水曜と土曜は療育的な活動を実施し、その他の曜日は作業支援を行った。利用者の希望や意思を確認しながら参加していただいた。

作業名	内容
緑化協会委託作業	田井みなど公園内の清掃を行った。
軽作業	手先を使う作業を行った。
製作（創作）	パッチワーク、ペーパークラフト等を製作した。

第1水曜	第2水曜	第3水曜	第4水曜	土曜開所
歩行訓練、療育、クラブ	歩行訓練、療育、（買い物学習）	歩行訓練、療育、誕生日会	歩行訓練、療育クラブ	療育 外出支援

## 3 職員配置状況（人員配置体制加算Ⅰと重度障害者支援加算を算定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必要人数	10.3	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
常勤換算後の人数	13.3	12.7	13.2	13.0	12.5	13.1	13.0	11.8	12.3	11.9	11.7	12.0

所長（兼務）	1人	事務総括局長補佐、のぞみ園生活支援員
管理者	1人	生活支援員と兼務（常勤換算 1.0）
サービス管理責任者	1人	
看護師（兼務）	1人	のぞみ園看護師兼務
事務員	1人	のぞみ園支援員兼務
生活支援員	13人	常勤専従 7人（管理者含む） 常勤兼務 1人 非常勤専従 4人
技能実習生	2人	

#### 4 職員研修

- ・誤嚥、窒息による救急対応講習
- ・法人内虐待防止研修
- ・生成 AI と DX 推進実践セミナー
- ・その他、各委員会での研修

#### 5 虐待防止への取り組み

- ・虐待防止セルフチェックを実施。
- ・グレイス虐待防止委員会（身体拘束適正化委員会）を実施。

#### 6 BCP（事業継続計画）訓練・研修

- ・データバックアップ訓練、トリアージの理解
- ・普段とは違う環境下での連携強化
- ・災害時における職員の役割と対応

#### 7 主な行事等

4月		10月	職員健康診断 ハロウィンレク
5月	内科検診	11月	職員健康診断 胸部レントゲン 内科検診
6月	1日外出 運営指導	12月	年賀寄付金車両贈呈式 （日産キャラバン） クリスマス会
7月		1月	初詣 ランチ会（外食）

8月	納涼会 避難訓練	2月	
9月		3月	避難訓練

- ・ 1日外出→種松山公園
- ・ ランチ会→岡山プラザホテル、水道記念館

## 8 送迎

自力での利用が困難な利用者のために、送迎サービスを実施した。安全な運転を心がけながら運行した。走行前にアルコールチェックを実施した。

## 9 委員会（研修・訓練）の開催について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
虐待防止委員会	○	○		○	○	○	○			○		
身体拘束の適正化のための対策を検討する委員会	○						○					
業務継続計画（BCP）委員会	○			○			○					
感染症の発生予防及びまん延防止委員会（グレイス単独）	○						○					

※法人単位の感染症の発生予防及びまん延防止委員会は、『感染対策委員会』という委員会名で毎月実施され、当所からはサービス管理責任者が出席した。

## 10 学生実習

ノートルダム清心女子大学介護体験実習

9月1日～ 5日 1名

10月6日～15日 1名

## 11 全体総括

高齢化と少子化による労働力不足が進行し、福祉分野における深刻な人手不足が続く中、人員配置1.5 : 1を維持することができた。日々の活動や行事、運営指導、指定更新も問題なく終えることができた。

福祉介護職は身体的負担が大きく、若い世代から敬遠されがちである。厳しい人材需給の中、働き方改革に適切に対応し、今後も職員の満足度とモチベーションを維持できるよう努めていきたい。

令和7年度 就労継続支援B型事業所  
フクちゃんのパン屋さん事業報告書

1. 目的及び基本方針について

運営基準における適切で事業運営をすすめ、本来の目的である一般就労が困難な利用者に対して、個別支援計画を基に作業の提供、工賃向上、一般就労への移行を促し自立を促進できるよう、支援の質向上に努めました。

2. 職員体制および利用定員

1) 所長／職業指導員（非常勤1名）

副所長／管理者（常勤兼務1名）

サービス管理責任者（常勤1名）

目標工賃達成指導員（常勤1名）

職業指導員（常勤1名／常勤兼務1名／非常勤2名）

生活支援員（非常勤4名）

職業指導員等の常勤換算上の人員配置は5.1人で基準以上配置。

\*常勤換算上の職業指導員等の常勤が1名しかいないのが課題。

2) 利用定員 20名（契約者 28名）\*令和7年3月31日末時点

今年度の平均利用人数は21.5人。（昨年度19.5人）

3. 活動内容について

- ・パン、ラスク、クッキーなどの製造、加工、販売（店舗及び外部販売）
- ・箱折作業（施設外就労） 年度途中より週4回から週2回作業日となる
- ・軽作業（ヤマサキ珍味受託作業）

- ・農作業（関西通商受託作業＊不定期）施設外就労に向けて体制準備中
- ・名刺作成（法人内からの受注請負）
- ・その他（短期的、季節的なお試し作業や、受託作業）
- ・土曜開所日の活動（調理実習、買い物学習、創作活動等）

#### 4. 収入（売上） ＊別紙参照

#### 5. 平均工賃月額

工賃支払い総額は 5,961,108 円（令和 6 年度 4,012,724 円）で平均工賃月額は 23,105 円（令和 6 年度 17,148 円）でした。全国平均（令和 6 年度 24,141 円）には依然として届いていないものの、大幅な改善を達成しました。

#### 6. 研修状況

虐待防止、身体拘束等の適正化のための委員会、研修の実施

感染症対策に関わる委員会、研修の実施

サービス管理責任者 更新・実践研修への参加及び協力

その他、全職員向けへの研修等実施

#### 7. 成果と課題

着実な平均利用人数の増加と、平均工賃の増加は日々の業務継続の結果の表れだと言えます。しかし全国の工賃平均とは依然として開きがあり、今後の作業の取捨選択における大きな課題となっています。また、作業と支援のバランスがとりにくいことも課題です。

2025年度収入状況

2025年度	2024年度	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	25年度	対前年比(%)
訓練等給付費	46,963,784	4,127,210	4,130,430	4,151,970	4,504,700	3,817,600	4,276,960	4,655,840	4,147,600	4,209,070	4,160,950	4,313,830	4,553,900	51,050,060	108.7
パン販売等	8,473,908	831,240	672,300	773,060	761,950	675,520	684,550	894,200	884,220	892,430	785,860	793,910	897,240	9,546,480	112.7
箱折	276,304	20,608	26,984	21,896	19,104	23,976	20,728	22,512	19,200	15,112	17,760	21,696	20,640	250,216	90.6
軽作業(珍珠)	3,573,544	335,533	339,304	301,003	272,733	259,656	336,776	343,292	297,670	287,264	283,498	300,256	411,504	3,769,089	105.5
キャッシュ・おもちゃ	83,520												30,800	30,800	36.9
農作業	503,147		188,650				703,125	7,598	147,400	165,275		232,100	84,700	1,528,848	303.9
計	59,874,207	5,314,591	5,358,268	5,247,929	5,558,487	4,776,752	6,022,139	5,923,442	5,496,090	5,569,151	5,248,068	5,661,792	5,998,784	66,175,493	110.5
対前年比	110.8	97.2	105.5	103.6	108.8	111.9	127.7	107.6	99.8	110.1	116.0	122.9	120.9	110.5	

# 令和7年度 地域活動支援センターこだま事業報告

## 1.総合評価

「地域活動支援センターこだま」は、土日祝開所の事業所として柔軟に運営し、利用者支援運営方針として

- ① 余暇にあっては豊かな体験や社会参加の促進
- ② 生産活動にあっては主体性を重んじたゆったりした日課の流れ  
これら2方針を挙げて、利用者の個性に応じた活動に取り組んできました。
- ③ 「ドッグフード商品シール貼り」及び「箸入れ作業」は利用者の積極的な作業参加が見られ、月曜日から金曜日まで日々励んでいます。
- ④ 日中一時支援事業は、放課後等デイサービス利用児童の増加が顕著であり、利用者数は年々増加となっています。

## 2.地域活動支援センターⅡ型事業

Ⅱ型事業所として利用者も定着し、活気づいた生産活動を行っています。

- ① 余暇にあっては豊かな体験や社会参加の促進
- ② 社会適応可能となるよう訓練
- ③ レクリエーション・創作活動の実施
- ④ 毎朝、検温による健康観察の実施

### 令和7年度地域活動支援センターⅡ型の活動状況(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延べ数	147	143	139	143	115	132	147	117	114	101	110	100	1,508名

## 3.日中一時支援事業

土日祝日の日中一時支援事業も利用が定着し、年々増加傾向にあり、特に若年層の利用希望が多くニーズの高さが伺えます。

### 令和7年度日中一時支援事業の活動状況(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延べ数	419	412	390	446	383	400	425	340	342	330	358	273	3,089名

## 令和7年度 相談支援事業所のぞみ事業報告

### 1 事業内容

- (1) 特定相談支援事業 玉野市指定
- (2) 障害児相談支援事業 玉野市指定
- (3) 一般相談支援事業（地域移行・地域定着） 岡山県指定
- (4) 玉野市地域生活支援事業（相談支援事業） 玉野市委託事業  
以下の事業を含む
  - ① 玉野市障害者総合支援協議会の運営
  - ② 相談支援機能強化
  - ③ 住居入居等支援
  - ④ 成年後見制度利用支援
- (5) 玉野市障害支援区分認定調査 玉野市委託事業
- (6) 玉野市災害時個別避難計画 玉野市委託事業

### 2 相談支援活動状況報告

- (1) 相談件数 \*別紙参照
- (2) 認定調査件数 55件 令和6年度より22件増
- (3) 計画作成/モレツク件数 865件 令和6年度より113件増

### 3 成果

- (1) 相談支援体制について  
管理者1名（兼務）、相談支援専門員3名（専従）の4名体制で事業を実施。  
電話による相談や行政との協議などは都度設けている。
- (2) 玉野市障害者総合支援協議会の運営について  
事務局運営会議再開。備前圏域、県連絡会議にも参加。

### 4 課題

市内全体もだが、法人内でも相談支援専門員資格を所持する方が減っており体制の維持が困難。初任者研修、現認者研修受講者の確保が必要。

相談支援専門員の質向上に向けて、相談支援検討会議などを活用しながら他機関との交流やスーパーバイズ、学習の継続が必要。

地域生活支援拠点整備は面的整備とされているが、活発に活動できているとは言い難く、緊急時の受け入れ先などの機能強化が求められる。基幹相談支援センターの設立、地域生活支援拠点整備など行政と協議して有意義な事業にしていく必要がある。

## 相談支援事業実績報告書

(障害者総合支援法)

事業所名 相談支援事業所 のぞみ

〒7060143

所在地 岡山県玉野市木目1461番地

電話：0863710110

自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月31日

(相談支援を利用している等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳機能 障害 (7)	その他 (8)
障害者 (01)	292	53	8	200	29	0	0	2
障害児 (02)	8	0	0	5	3	0	0	0
計 (05)	300	53	8	205	32	0	0	2

(支援方法)

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話等相談 (4)	個別支援 会議 (5)	関係機関 (6)	その他 (7)	計 (8)
件数 (07)	908	104	34	1693	61	212	1888	4900

(支援内容)

	福祉サー ビスの利 用等に 関する 支援 (1)	障害や病 状の理 解に関 する支 援 (2)	健康・医 療に関 する支 援 (3)	不安の解 消・情 緒安 定に関 する 支援 (4)	保育・教 育に関 する支 援 (5)	家族関係 ・人 間関係 に関 する支 援 (6)	家計・経 済に 関する (7)	生活技術 に関 する支 援 (8)	就労に関 する 支援 (9)
件数 (07)	2930	1048	1342	965	60	877	431	2015	958
ピアカウンセ ラー (再掲) (08)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	社会参加・ 余暇活動 に関する 支援 (10)	権利擁護 に関 する支 援 (11)	その他 (12)	計 (13)
件数 (07)	43	10	219	10898
ピアカウンセ ラー (再掲) (08)	0	0	0	0

# 令和7年度 高齢者関連施設等事業報告書

## 1. 高齢者関連施設等の設置・運営

- ・ 地域密着型特別養護老人ホーム笑福亭（平成24年7月1日開設）

事業種別：地域密着型特別養護老人ホーム（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

所在地：岡山県岡山市中区桑野525番125

定員：29名（全室個室・3ユニット）

- ・ 笑福亭（平成24年7月1日開設→平成29年9月5日休止⇒平成30年6月再開→令和6年10月1日休止→令和7年8月1日再開）

事業種別：短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

定員：10名（全室個室）

## 2. 目的

高齢化社会の進展に伴う地域の高齢者介護のニーズに応えるべく、平成24年7月1日より岡山市中区桑野に地域密着型特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業を整備し、約12年が経過した。

地域社会の生活状況に密着した施設づくりを目標とし、地域の要介護高齢者のニーズの把握に努め、高齢者やその家族が安心して介護を受けることが

できるよう施設機能の充実に努めてきた。

事業所地域で活動する医療・介護・福祉関係の他機関との連携を深めるとともに、地域住民との交流も含めた様々な取り組みを行えるように努めてきた。操明地区のさくら祭りに初めてパールンアート（無料）、足つぼマッサージ（有料）で出店し、操明地区の学童及びその父母に、地域密着型特別養護老人ホーム笑福亭を周知して頂くよう努めた。

コロナ感染渦で令和4年度以降中止していた地域運営推進会議を令和6年度から復活して、偶数月の隔月の定例化が定着し、連合町内会長、副会長、民生員会会長、操明学区コミュニティー協会会長、中区地域包括支援センター、岡山市社会福祉協議会中区事務所職員の出席のもと、地域貢献事業（認知症カフェ）の立ち上げについて協議を続けている。

### 3. 基本方針

質の高い介護サービスの提供と安心・安全な介護を実現するべく、施設職員、とりわけ介護・看護職員の教育体制の充実を重視し、施設サービスの基本でもある「自立の支援」と「安心・安全な施設づくり」を実現することを目標とした。

#### ・「自立の支援」

日常生活において介護や生活支援が必要な状態になったとしても、常に自

己決定ができるような環境づくり・支援に努め、それに基づいた施設介護サービス計画を作成し、その計画に従って適切な介護サービスを提供していくことを基本とする。

・「安心・安全な施設づくり」

介護サービスを提供すべき事業者としては、日常から利用者の健康管理に努め、常に健やかな生活が出来るように支援するとともに、感染症の蔓延や介護事故等の予防と対策に留意し、施設での生活を「安全」なものとなるように努める。また、家族にとっては施設が「安心」して自分の家族の介護を受ける場であることを保障するとともに、地域住民にとっても「安心」して利用できる施設であり、かつ非常災害時には地域住民が一時避難場所として施設の機能を活用できるよう、期待されるべき機能を認識した上で、その維持向上に努める。

・「ひとりひとりの思いや夢を形に」

ご利用される方の個性を尊重した介護や生活支援を行い、それぞれが持つ「思い」や「夢」を少しでも実現していくことができるよう創意工夫する。

またご利用者だけではなく、ご家族やそこで働く職員の「思い」や「夢」をも実現できるように働きかけることが、そこに集う全ての人の「笑顔」を引き出し、なおかつ「幸福」な気持ちを維持していくことにつながると考える。笑顔が満ち溢れ、幸福な気持ちが感じ取れる、そうした施設づくりの実

現を大きな目標とする。

【職員目標】

1. 私たちは、人間同士の関わりが中心となる仕事に就くものとして、愛情と忍耐と使命感のもと、お互いの人格を尊重し合い、利用者の基本的人権と尊厳が損なわれないようにしていきます。
2. 私たちは、障害者、健常者、家族、地域の共同と連帯を目指し、人としての価値は常に平等であり、地域の住民という役割を果たせるよう、社会参加実現に向けて支援していきます。
3. 私たちは、障害者が一人の人間として地域で生活するために、個々の目標とニーズに基づき、「自立」に向けて現実的・具体的な生活力がつくように支援していきます。

#### 4. 利用実績報告

##### (1) 地域密着型特別養護老人ホーム

定員	延入居者数	延入居日数	稼働率	新入居者数	退去数	平均年齢		平均介護度
						男性	女性	
29名	350名	10112日	95.5%	11名	11名	85.5歳	87.2歳	要介護4

\*最高齢者 男性102歳（8年3月13日没）、女性100歳

最年少 女性72歳、男性77歳（ご夫婦）

- ① 稼働率については、令和4年度が98.2%、5年度が98.7%と僅かに改善していたが、6年度は96.9%、7年度は95.5%と2期連続で下がっている。
- ② 入院者については、令和4年度が632日、5年度は554日と入院が多い時期と比較すると6年度は223日、7年度は386日で増加している。6年度は、2月期、3月期は入院者0だったが、7年度は入院者が0の月が無かった。
- ③ 退所者内訳について死亡5名の全てが施設内看取りだった。在宅で看取りする為に退所された方1名、入院の後直ぐに亡くなった方2名、長期入院の為に退所した人3名、その内2名が4カ月以内に再入所されている。

④ 稼働率が6年度、7年度と下がってしまった理由として、コロナ渦以降に待機者が減り、退所者が出てもすぐに補充できない日数が増えている。また、病院、他施設から入所を打診される方が、常時喀痰吸引が必要であったり、在宅酸素等の医療依存度の高い方、精神科に入院が妥当と思われる方が多く、また、ご家族も他施設と比較して入所まで時間をかける方が多くなってきている傾向があり、施設に空きがあれば急いで入所するような時代ではなくなっていると思われる。

## (2) 短期入所生活介護事業所

定員	延利用者数	延利用日数	稼働率	平均年齢		平均介護度
				男性	女性	
10名	13人	249日	6.8%	82.5歳	87.5歳	3.5

- ① 特例入所1床分は、短期入所利用の中に含めている。
- ② 稼働率については、6年度10月から休止しており、8月から再開したが、9月から採用を予定していた介護職員4名が直前になって入職を辞退されたため、最低限の受入れしか出来なかった。

## 5. 職員の採用状況及び配置状況

(1) 新入職者数 0名 (派遣職員2名)

(2) 退職者数 6名 (介護職員3名 (嘱託1名、特定技能2名)

看護師1名、事務員1名、環境整備1名、夜間警備1名)

退職者の退職理由として、自己都合退職2名、退職勧奨による1名、契約期間満了による退職2名、病気理由による退職1名。

(3) 職員配置状況 (令和7年3月31日)

職員数内訳 (地域密着型特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護)

職種別	定数 (基準省令による)	現員	備考
施設長	1名	1名	
医師	1名	1名	嘱託・非常勤
生活相談員	1名	1名	正職
事務員	必要数	1名	嘱託 (年度末退職)
介護職員	利用者の総数を3で 除した数 (看護職員 を含む) 10名	12名 (看護師含まず)	常勤換算: 11.2人 内1名は介護支援専門員兼務 (派遣職員含まず)
看護職員	1名	3名	パート3名 (特養常勤換算2.2名)
栄養士	1名	1名	管理栄養士を配置
機能訓練指導員	1名	1名	看護師常勤パート
介護支援専門員	2名	2名	介護職員兼務
調理員	必要数		業務委託
夜間警備員	必要数	2名	水～日1名 1名退職
環境整備員	必要数	1名	年度末
合計		24名	(兼務者は除く)

(4) 技能実習生・特定技能の状況

① 特定技能 (他法人からの転職含む) 3名

中国国籍2名 (内1名3月退職)、国籍ミャンマー1名 (女性)

② 特定技能の退職者

a. 8月末退職 1名 自己都合 (中国国籍男性)

b. 3月末退職 1名 帰国（①の中国国籍女性）

（5）派遣社員 5名（常勤換算 4.26人）

①月168時間 勤務 9:00～18:00 女性1名

②月176時間 勤務 8:00～18:00 女性1名

③月156時間 勤務 7:00～19:00 女性1名

④週30時間 勤務 8:30～15:00 女性1名

⑤週24時間 勤務 10:～19:00 女性1名（4月から定時へ）

## 6. 年間行事の実施状況

### 地域密着型特別養護老人ホーム 笑福亭

月度	曜日等	行事内容
4月	3～10日	桜花見外出
	6日	操明学区さくら祭出店
	第3水曜日	管理会議・事故防止委員会・身体拘束廃止虐待防止委員会・入所判定会議 給食会議
	第3木曜日	地域運営推進会議 令和7年度第1回
5月	第3水曜日	管理会議・事故防止委員会・身体拘束廃止虐待防止委員会・入所判定会議
6月	1～30日	入居者検診（おかやま南クリニック）
	第3水曜日	管理会議・事故防止委員会・身体拘束廃止虐待防止委員会・入所判定会議
	19日	地域運営推進会議 令和7年度第2回
	20日	職員健診（特定健診、腰痛）
	22, 25, 26日	1F～3Fまで床清掃（居室含む）
7月	1～31日	入居者検診（おかやま南クリニック）
	第3水曜日	リーダー会議・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員

		会・虐待防止・身体拘束廃止委員会
	28日	消化（放水）訓練(火災)
	28日	消防機器総合点検
8月	1～31日	入居者検診（おかやま南クリニック）
	第3水曜日	リーダー会議・虐待防止・身体拘束廃止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・管理会議
	21日	地域運営推進会議 令和7年度第3回
9月	1～30日	感染症訓練期間（PPE 実地指導）
	第3水曜日	リーダー会議・身体拘束・虐待防止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
10月	10日～	太陽光発電装置設置工事開始（足場工事）
	第3水曜日	リーダー会議・虐待防止・身体拘束廃止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・管理会議
	16日	地域運営推進会議 令和7年度第4回
11月	12、13日	感染症研修 花王
	第3水曜日	リーダー会議・身体拘束虐待防止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員
	21日	岡山市事業者指導課 運営指導
12月	8日	岡山市事業者指導課 運営指導2回目
	8日	岡山市中区地域連携会議
	15日	消防点検
	第3水曜日	リーダー会議・身体拘束虐待防止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	18日	地域運営推進会議 令和6年度第4回
1月	5日～9日	沖田神社参拝・記念撮影
	21日	第三者評価 グランデパールさん来所 笑福亭分
	第3水曜日	リーダー会議・身体拘束虐待防止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	18日・22日	身体拘束研修（パラマウントベッド 安全勉強会）
2月	3日	節分行事（豆まき）
	6日	
	12日	パラマウントベッド安全研修会
	16日	第三者評価 グランデパールさん分（施設長、ケアマネ、UL）

	第3水曜日	リーダー会議・虐待防止・身体拘束廃止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	19日	地域運営推進会議 令和6年度第6回
3月	3日	雛祭り（お茶会）
	10日	集団指導
	13、18日	24時間シート 導入操作説明
	16日	岡山市感染症対策課視察 感染症指導
	第3水曜日	リーダー会議・虐待防止・身体拘束廃止委員会・事故防止委員会・入所判定会議・感染症委員会
	28日	防災訓練（夜間想定・大規模地震想定訓練）

## 7. 令和7年中に行ったコストカット

### (1) 業務委託契約業者の変更（前年比 ▲3,753千円）

①令和5年度末に(株)ベネミールから、給食業務委託費の大幅な値上げを求められ、6年度中に協議して見積合わせの結果、令和7年4月1日より日清医療食品(株)に業務委託を変更した。朝夕の食事はクックチル、昼の食事はクックサーブ（手作り調理）で1年を通して、笑福亭、エスポワールクワノと食事を提供して貰った。（前年比▲2,626千円）

以前契約していた(株)ベネミールよりもコストが安くなり、食事提供時のトラブルも少なく、日によっての食事量の増減もなく令和7年度を終えることが出来た。

### (2) 太陽光発電他の節電設備の導入後

岡山県の自家用発電設備導入事業と岡山市のスマートエネルギー導入促進補助金が併用できると業者（(株)エスココーポレーション）から提案が

あり、先に岡山県に申込をしたところ補助対象施設となったため、岡山市の補助申請も行い承認されたため、太陽光発電（自家消費）設備、デマンドコントローラー設置、LED 照明への交換工事を行った。

前年度は、太陽光発電、LED 照明、デマンドコントローラーの順で10月から工事を行った為、太陽光発電の発電量が落ち始めた時期であった事、電気の契約も通常の契約で効果が特筆するほどでは無かった。

7年度は、給食委託業者が変わり、3食クックサーブ（手作り）から、朝夕の2食がクックチルになった、電気、水道、ガスの使用量が減った。また、電気契約も固定から市場変動のハイブリッド契約に変更したため、節電設備と4月から電気料金が約半額、5月から10月にかけて前年度の平均53%減となった。

\*電気代（前年比▲4,007千円）

\*水道代（前年比▲180千円） ・ \*ガス代（前年比▲569千円）

### (3) 人件費の節減（前年比▲10,004千円）

前年度と同様、介護職員以外の人件費削減の為、年度当初から余剰人員の整理を検討したが、結果とし異動やリストラは行わなかった。

7年度は、短期入所再開の為、介護職の増員を試みたが、結果として増員するに至らなかった。それどころか、不適切な介護を行っていた職員2名を嚴重注意したところ自主退職してしまうなど2名減ってしまった。

介護職員以外では、リストラを検討していた嘱託職員の1名が、1月に入所者に暴力を振るった為、顧問弁護士と相談の上で2月に退職勧奨する事になった。また、勤務態度に問題のある嘱託職員と定時職員の2名に顧問弁護士と相談して3月末で雇止めにした。

予定外だったのは、夜間警備職員が1月にケガで入院し、その後に検査で内臓に疾患が見つかり、健康上の理由で退職された事で、施設長、相談員が月、火の二日間遅出勤務をすることになり負担が増えている。

コストに関しては、介護職員の退職は6月、8月と早い時期であり、補員が上手く行かず派遣で対処したので人件費が増加してしまったことと、上記の介護職員以外4名の退職時期が、2月、有休消化後の3月末であった為、4名分の人件費減は7年度では反映されなかった。

今年度の人件費で、法人職員分は、職員給与、諸手当賞与、嘱託医報酬、退職給付費用、法定福利費を合算した額が前年比で▲23,912千円、派遣費用が前年比+13,908千円だった。派遣で介護職員を補わなければならなかった為、人件費の削減が思った程出来ず、夜勤をする職員に負担が多くなってしまった。

1. 事業の目的と運営

障害者総合支援法に基づき、「自助・自立」の精神で働く権利を保障するための労働の提供を通して、働く喜びや生きがいを感じながら豊かな地域生活が安定して送れるよう支援を行った。また、働く意識を高め、工賃向上や充実感が得られる環境づくりができるよう、利用者の意思決定を尊重した個別支援計画を作成し、特性や関心に合わせた様々な作業・サービス提供を行い、6ヶ月に1回のモニタリングを行った。

2. 運営の実績

(1) 利用状況及び延べ利用者数と出席率 定員 35名 (主 20名・従 15名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	24	22	23	24	20	23	24	21	22	21	21	24	269
延利用者	639	601	625	662	533	611	636	566	606	563	571	654	7267
稼働率%	76.1	78.6	77.6	78.8	76.1	75.9	75.7	77.0	78.7	76.6	77.7	77.9	77.2

- ・ 1日平均 27.1名 (出席率 77.2% 主 : 82.8% 従 69.8%)
- ・ 新規 2名入所 (10月、11月)
- ・ 令和8年3月31日現在契約者 34名 (主 20名 従 14名)

(3) 基本報酬及び主な加算状況 (人員配置体制加算 I 6:1)

- ・ 平均工賃月額区分 4 (前年比 2ランク上昇) ・ 目標工賃達成指導員配置加算
- ・ 福祉専門職員配置等加算 I ・ 送迎体制加算 ・ 食事提供体制加算
- ・ 欠席加算 ・ 訪問加算 ・ 目標工賃達成加算 (新規)

(4) 職員配置状況 (令和8年3月31時点)

- ・ 管理者 1名
- ・ サービス管理責任者 2名 (1名専任・1名生活支援員兼務)
- ・ 生活支援員 6名 (常勤 4名 非常勤 2名)
- ・ 職業指導員 5名 (常勤 2名 非常勤 3名)
- ・ 目標工賃達成指導員 5名 (非常勤 5名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤換算	8.7	8.6	9.1	8.8	8.6	9.4	9.0	9.0	9.6	9.4	9.2	9.1

※前年度の利用平均人数 (26.7名) に対し人員配置体制 (6:1) の常勤換算で 5.0 以上を配置し目標工賃達成指導員 1.0 以上を配置し常勤換算 6.0 以上

3. 作業の状況

主：点字ブロック加工作業、農福連携事業 (桃の袋掛け、ブドウの皮むき) 農耕  
 従：点字関連作業、軽作業 (封入、箸入れ、ベリカバー、ミニスプーン、ラベル  
 貼り等)、きょうされんからの委託販売、セルフセンターからの優先調達事  
 業 (おかしボックス、健診ガイド、配送業務等)

	月額平均	年間総工賃	年間総収入
令和5年度	19,589	6,487,820	10,942,417
令和6年度	25,149	8,057,861	10,841,247
令和7年度	15,410	5,011,265	7,832,430

#### 4. 職員研修

- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎）2名
- ・虐待防止研修及び身体拘束適正化（ケーススタディなど）
- ・感染症対策研修（BCP、配信動画、感染症発生時の対応訓練）
- ・防災研修（送迎時の災害対応、災害グッズの使用訓練、避難確保計画）
- ・各職員の外部研修参加（防火防災管理者、育児休業促進事業、健康経営、メンタルヘルス、ストレスマネジメント、助成金セミナー、避難確保計画等）

#### 5. 行事・活動

※適宜リモートも活用して行った。

4月	入所式 ナイスハート	10月	愛育委員交流 社会見学（広島八天堂）
5月	愛育委員交流	11月	
6月	ミニ運動会 （馬屋下小体育館）	12月	クリスマス会（民生委員、愛育委員、地域ボラ参加有り）
7月	総合健康診断	1月	還暦を祝う会
9月	北ふれあい祭り	3月	内科検診・総合避難訓練

- ・自立訓練活動・日常訓練活動（月2回）…生活支援、防火・防災訓練、調理活動（地域ボランティア）、年中行事、買い物活動、おかやまアダプト等
- ・自治会・誕生会（毎月）…リモートも活用し利用者の司会進行で行った。
- ・地域交流…ふれあいクラブ（銭太鼓）、自立訓練、愛育委員との交流会
- ・余暇活動…カラオケ、ドライブ、商業施設散策、創作、調理、ビンゴ等
- ・還暦を祝う会に町内会長・民生委員・家族会等の参加

#### 6. 虐待防止・身体拘束適正化への取り組み

法人内で虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催し、内容は全職員に周知した。また、自事業所でも同委員会を設置・開催し、事例検討、改善案の提案、実施、検証を行った。虐待に関するセルフチェックは年2回実施し、結果とともに適切な支援に向けてのコメントを添えて全職員に配布し、結果を毎日の終礼で黙読し意識向上を行った。また、委員会通信を年4回発行、リフレーミングクイズを毎月1回行い、結果を掲示し啓発活動を行った。2月に施設内研修として、虐待の芽に気付くワーク、意思決定支援のケーススタディ、チーム連携を取りあげ実施した。

#### 7. 保健・衛生（感染症予防への取り組み）

BCPに則って委員会を設置し、事業所内での感染症の情報共有や感染対策についての見直しを行った。研修として、動画視聴、感染症発生時の対応訓練等を年4回行った。マスクの着用、消毒、検温、パーテーション使用、加湿器使用等の感染対策を毎日行った。10月に新型コロナウイルスが事業所内で流行した。

## 8. 防火・防災

責任者の下委員会を設置し、定期的に地震・火災・水害への避難訓練を行った。8、9月にBCP、避難確保計画研修を実施し、被災時の役割分担、送迎時の対応や近隣の避難先を共有した。ライフライン停止時に使用する発電機の取り扱い方法の説明や訓練を行った。3月には地域の馬屋下消防団と合同で避難訓練・消火訓練を行った。

## 9. 送迎

自力自転車通所者4名 自力での通所が困難な利用者には送迎等を行い5方向に向けて実施した。運転業務に携わる前にはアルコールチェッカーで検査を行い、安全運転に努めるとともに、降車後の置き去り確認を徹底した。送迎時の事故はなし。自転車通勤者で事故1件あり（受診不要）。

## 10. その他

- ・ 支援学校実習…主：2年生1名 従：2年生1名 受け入れた
- ・ 見学9件（支援学校含む）あり2名契約につながった。
- ・ 介護等体験…3名受け入れた。
- ・ ひやりはっと事故報告を積極的に作成し、要因分析・再発防止・検証を徹底しリスクマネジメントに努めた。
- ・ 苦情受付2件
  - ①ご利用者への支援。改善済。
  - ②ご利用者への苦情。対応解決済。
- ・ 満足度アンケートを実施し、職員間でも共有し話し合いを行った。
- ・ ストレスチェックを実施し、各職員に結果周知を行った。
- ・ 主事業所の事業所説明会及び給食試食会を企画実行し、相談支援事業所と就労選択支援事業所の参加があった。支援学校で事業所説明会を行った。

## 11. 成果と課題

今期は説明会の企画など外部へのアピールを積極的に行い見学者も多数受け入れており、2名新規ご利用者との契約に至った。6年度に工賃向上計画の目標を達成できたため、7年度は目標工賃達成加算も算定できた。

一方で就労収入に関しては、点字ブロック作業の受託量が大幅に減少した影響があり、平均工賃の水準も下がることとなった。自主生産品の作成、他作業の受注量や農福連携事業の取り組みを増やして対応したが、補填には至っていない。セルフセンターに掛け合い自主生産品等の新規開拓を図っているところである。

今年度は自己目標シートを新たに導入し、職員一人一人のスキルアップを図り、魅力ある事業所づくりにつながるよう取り組んだ。支援学校見学者から「エスポールの支援がとても良いと感じた」と評価をいただくこともあった。今後も引き続き利用者が満足感を得られる支援を提供し、新規利用者の獲得、既存利用者の定着、安定した運営を目指していきたい。

令和7年度 地域生活支援事業報告

日中一時支援事業 エスポアール・セルプ

1 利用状況

性別/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男(0)													0
女(0)													0
合計													0

令和8年3月31日現在

利用が0件でした。

令和7年度 地域生活支援事業報告

日中一時支援事業 エスポアール・スター

1 利用状況

性別/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男(1)													0
女(1)													0
計													0

令和8年3月31日現在

利用が0件でした。

# 令和7年度エスポアール・スター（生活介護）事業報告

## 1. 事業の目的と運営

障害者総合支援法に基づき、個々の日常生活能力に応じた活動を通じて日常生活動作の維持・向上に向け支援を行った。また、毎日通いたくなるような事業所になるよう、利用者の人権、人格、意思決定を尊重し、療育活動、作業など利用者主体の様々なサービス提供を行った。個別支援計画を作成して6ヶ月に1度モニタリングを行う等、計画的に支援を行った。

## 2. 運営の実績

### (1) 障害支援区分・利用時間（令和8年3月31日現在）

	区分4	区分5	区分6	合計
4時間			1名	1名
5時間		2名	3名	5名
6時間	2名	11名	17名	30名
7時間		1名	2名	3名

うち、重度障害者支援対象者 29名

### (2) 利用状況及び延べ利用者数と出勤率（定員37名に対して）

（契約者数 40名 3月以降39名（1名退所））

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	22	23	24	20	23	24	21	22	21	21	24	269
延利用者	755	591	698	762	622	727	762	670	699	646	658	764	8,354
稼働率(%)	85.0	72.6	82.0	85.8	84.1	85.4	85.8	86.2	85.9	83.1	84.7	86.0	83.9

一日平均 31.1名利用（定員37名に対しての83.9%）

### (3) 主な加算状況

- ・人員配置体制加算Ⅰ（1.5：1）、食事提供体制加算、欠席加算、福祉専門職員配置等加算Ⅰ・Ⅲ、重度障害者支援加算（研修修了者11名）、送迎体制加算、送迎体制加算（重度）

### (4) 利用者支援の状況

午前には各グループで、作業（点字ブロック委託作業・軽作業・ボカシ作成作業・リサイクル活動・農作業等）を行い、それに対する対価として工賃を毎月支給した。午後からは療育的活動（音楽活動や創作活動、健康活動等）を定期的、計画的に行った。その他運動やリハビリ的な活動を取り入れたり、ADLの向上に向けて身辺自立が確立できるよう支援を行った。日常生活の中で意思決定の機会を取り入れながら、買い物等の活動で実践できる機会を提供した。

### 3. 職員配置状況（人員配置体制加算 I と重度障害者支援加算を算定）

常勤換算 15.5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤換算後の 人数	19.0	18.8	18.0	19.1	19.2	19.1	19.6	19.9	19.7	19.2	19.1	19.2

○職員配置は前年度の利用時間に応じた利用人数平均（23.2名）に対し、人員配置体制（1.5：1）の常勤換算で16名以上を配置した。各作業室で重度障害者支援対応ため、2名多く配置

管理者	1名（相談支援事業所エスポール管理者兼務）
サービス管理責任者	1名
看護師	1名（非常勤）
嘱託医師	1名 協力医療機関は同仁病院
生活支援員	常勤専従16名・非常勤専従9名（事務員兼1名含む）

（令和8年3月31日現在）

### 4. 職員研修とBCP（事業継続計画）訓練・研修

- ・強度行動障害支援者養成研修 基礎研修2名
- ・岡山県社会福祉協議会主催研修
- ・保健衛生研修（感染症・BCPについて）
- ・防災研修（避難確保計画・BCP・災害グッズの使用訓練）

### 5. 虐待防止への取り組み

法人内で虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催し、内容は全職員に周知した。また、事業所内でも同**責任者の下**委員会を設置・開催し、課題の洗い出しや改善案の提案、実施、検証を行った。虐待に関するセルフチェックを年2回実施し、結果とともに適切な支援に向けてのコメントを添えて全職員に配布した。毎日の終礼で振り返り、意識向上を行った。また、委員会通信を毎月発行した。セルフチェックで、虐待と思う現場を見たとの意見が挙がり、岡山市の障害福祉課へ通報後、施設内で聞き取り、報告を行った。虐待ではないと判断され、連絡があった。この機会を利用し、誰から見ても丁寧な支援となるよう支援方法を共有した。

### 6. 保健・衛生（感染症への取り組み）

**責任者の下**委員会を設置し、BCPに則って事業所内での感染症の情報共有や感染対策についての見直しを行った。研修として、動画視聴、手洗いチェッカーによる手洗いの仕方、感染症発生時の対応訓練、嘔吐物の処理の実践等を行った。マスクの着用、消毒、検温、パーテーション使用等の感染対策を行ったが、5月末に新型コロナウイルスやインフルエンザの感染が流行した。換気や加湿、オゾン発生器等の対策を行うことで、以降は感染を広げることなく運営を行った。

## 7. 防火・防災

責任者の下委員会を設置し、定期的に地震・火災・水害への避難訓練を行った。BCP, 避難確保計画研修では、被災時の初動対応や業務再開時の役割分担、送迎時の対応や近隣の避難先を共有した。またグループ研修にて、ライフライン停止時に使用する災害グッズの取り扱い方法の説明や訓練を行った。3月には地域の馬屋下消防団と合同で避難訓練・消火訓練を行った。

## 8. 事業継続計画 (BCP)

感染症及び非常災害が発生した場合に事業を継続できるよう、この2項目においての事業継続計画の見直しや充足を図った。職員に周知し、どちらにおいても訓練・研修に取り組んだ。

## 9. 送迎

自力での通所が困難な利用者のために、送迎サービスを12方向で行い、また、短期入所事業所への送迎も適宜行った。運転業務に携わる前には、アルコールチェックで検査を行うとともに、安全運転に努めた。大きな事故はなかった。

## 10. 主な行事等 (避難訓練は、火災・地震・水害のいずれかを毎月実施)

4月	入所式 (リモート交流有) ナイスハート倉敷	10月	社会見学 (第5作業班: 香川県四国水族館) 愛育委員との交流
5月	愛育委員との交流	11月	社会見学 (1.4 作業班: 香川県四国水族館) インフルエンザ予防接種 避難訓練 (各作業室)
6月	運動会 (馬屋下小体育館)		
7月	総合健康診断 総合避難訓練	12月	クリスマス会 (リモート交流)
		1月	20歳を祝う会 (リモート交流)
		3月	地域交流・内科検診・総合避難訓練 BCP 訓練 (防火防災・保健衛生)

### 11. 支援学校実習

- ・令和7年9月29日 (月) ~ 10月10日 (金) 岡山県立岡山西支援学校高等部2年生1名
- ・令和8年2月2日 (月) ~ 6日 (金) 岡山県立岡山西支援学校高等部2年生1名

### 12. その他

- ・事故報告が1件あった。ガラス飛散による怪我のため、通院の付き添いを行った。
- ・家族より苦情受付が1件あった。対応解決済。
- ・利用者満足度アンケートを実施し、職員間でも共有し話し合いを行った。
- ・各種行事に地域の町内会会長・民生委員の参加、愛育委員との交流会や施設でのふれあいクラブの実施、地域小学校の体育館を借り、児童・こども園との地域交流を実施した。

## 令和7年度事業報告

相談支援事業所 エスポアール

平成24年4月より相談支援事業所エスポアールを開設し、障害者・児及び保護者等からの様々な相談に応じています。又、障害者・児の自立した生活を支え、障害者・児の抱える課題の解決に取り組み、更には、適切な福祉サービスの利用に向けて、サービス等利用計画を作成しています。

### 1 相談受付件数

相談内容	延件数
サービス等利用計画の作成について(セルフプラン)	1
施設(事業所)利用、見学について	4
就労について	0
計	5

### 2 【計画相談支援者】 障害別件数 (重複障害を含む)

障害	男性	女性	計
知的障害	10	10	20
身体障害	1	4	5
精神障害	0	1	1
計	11	15	26

### 3 【計画相談支援者】年齢別件数

年齢	男	女	計
18未満	0	1	1
18～30	4	0	4
31～40	1	1	2
41～50	4	3	7
51～64	2	4	6
65以上		0	0
計	11	9	20

### 4 【計画相談支援者】居住地別件数

居住地	男	女	計
岡山市	9	10	19
倉敷市	0	0	0
赤磐市	1	0	1
備前市	0	0	0
計	10	10	20

5 前年度からの計画相談継続件数  
19件

6 令和7年度の計画相談実施件数(待機)  
20件(0件)

7 職員体制

管理者(兼) 1名

相談支援専門員(非) 1名【令和8年3月現在】

## 令和7年度

### 日中一時支援エスポアール・クワノ

#### 事業報告

- ・令和5年8月より事業を開始した。
  - ・事業場は高齢者施設「笑福亭」の1階。
  - ・レスパイト5名・タイムケア3名。一日の受け入れ定員5名とした。
- 今年度は、エスポアール・クワノの生活介護事業を主の事業とし、生活介護事業の定員を超える利用希望があった際に、日中一時支援で受け入れを可能とするよう取り組んだ。
- 行事等で日中一時支援の利用が見込まれ**行事前日まで利用の予定があったが、当日急遽生活介護で欠席者が出たため**、生活介護事業のみで当日の受入が可能となり、本年度の日中一時支援の利用はなかった。

# 令和7年度エスポアール・クワノ（生活介護）事業報告書（案）

## 1、事業の目的と運営

障害者総合支援法に基づき、個々の特性・能力に応じた日中活動を通じ、日常生活動作の向上に向け支援を行った。また、「ひとりひとりが輝ける」よう、利用者の人権・人格を尊重し、利用者主体のサービス提供を行った。

## 2、運営の実績

### (1) 障害支援区分

令和8年3月31日現在

区分4	区分5	区分6	合計
0名	6名	16名	22名

うち、重度障害者支援対象者17名

### (2) 利用状況及び延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	24	22	23	24	20	23	24	21	22	20	22	24	269
延利用者	437	409	421	409	353	423	438	392	415	300	404	429	4830

一日平均17.9名利用した（定員20名に対しての89.9%）

標準利用時間：3時間1名、6時間19名、7時間3名、計23名

### (3) 主な加算状況

人員配置体制加算	I（1.5：1）
食事提供体制加算	
福祉専門職員配置等加算Ⅰ・Ⅲ（併給可）	【Ⅰは3福祉士の有資格の常勤職員が全常勤職員の35%以上。Ⅲは勤続3年以上の常勤職員が全常勤職員の30%以上】
欠席加算	欠席時に、相談援助を実施
重度障害者支援加算	重度障害者に対して手厚い支援を実施

送迎体制加算	一回の送迎につき平均 10 人以上利用。かつ、週 3 回以上の送迎実施に該当
送迎体制加算（重 度）	送迎を利用するもののうち、区分 5 もしくは区分 6 に該当するものが 100 分の 60 以上に該当

#### （４）利用者支援の状況

午前は小グループでの療育活動（運動・内職練習・創作）を行い、午後は 2 グループでレクリエーション・運動・創作活動等を行った。1 月、利用者発端のインフルエンザ集団発生があり、職員利用者 20 名以上が罹患した。3 月 6 日、利用者 1 名が逝去され契約人数が 22 人となった

### 3. 職員配置状況（人員配置体制加算 I（1.5:1）と重度障害者支援加算を算定）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
必要人数	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3
常勤換算後の 人数	11.9	11.4	11.9	11.5	11.4	11.4	11.7	11.3	12.8	11.7	12.6	12.5

○職員配置は前年度の利用時間に応じた利用平均人数（13.9 名）に対し、人員配置体制（1.5 :

1）の常勤換算で 10 人以上を配置した。重度障害者支援対応のため 1 人多く配置

#### ●令和 8 年 3 月 31 日現在の職員の状況

管理者	1 名
サービス管理責任者	3 名（常勤 1 名・兼務 2 名）
看護師	1 名（非常勤）
生活支援員	常勤専従 6 名 非常勤専従 10 名（事務員・サビ菅兼 3 名含む）

#### 4. 職員研修

自己研鑽や資格取得の研修に参加できた。WEB 研修（障害特性の理解・BCP 等）は積

極的に参加した。その内容は職員会議の中で報告し、職員の理解向上に努めた。

施設内研修で、配信動画を使った研修（虐待防止及び身体拘束禁止・感染症対策・防災学習・事業継続計画）や実地・机上訓練を、いずれか毎月行った。

#### 5. 虐待防止・身体拘束の適正化への取り組み

法人内で虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を開催し、内容は全職員に通達した。また、自事業所でも委員会を開催し、現状把握や適切な支援が行えるよう取り組んだ。公的な配信動画や研修資料を基に虐待・身体拘束に対する学びの場を設けた。また、職員のストレスチェックや利用者の満足度調査を実施し、気になる点がある場合は早めに気づきと解決に向けた行動に移した。虐待チェックシートの記入・提出を行い、気になる点（呼称・支援内容）は委員会で改善を協議し実行に移した。

#### 6. 事業継続計画（BCP）

感染症及び非常災害が発生した場合に事業を継続できるよう、この2項目においての事業継続計画を作成し見直しや充足を図った。職員に周知し、どちらにおいても訓練・研修に取り組んだ。感染症・防災共に法人・事業所で対策委員会開催した。

#### 7. 送迎

送迎サービスを岡山市内5方向で行った。大きな事故などはなかった。

#### 8. 主な行事等（避難訓練は、火災・地震・水害・津波のいずれかを毎月実施）

6月・・・ミニ運動会、健康診断

11月・・・社会見学

12月・・・クリスマス会

1月・・・内科検診      3月・・・健康相談

# 令和7年度 救護施設たましま寮事業報告書

令和8年3月31日

令和7年度も、前年に引続き個別支援計画に基づく個別支援を実施いたしました。救護施設の個別支援計画の作成義務化に伴い、利用者の要望に沿った形で個別支援計画が作成されるよう職員に周知徹底いたしました。さらに、利用者一人ひとりが心豊かな生活が毎日送れるように個別支援計画の見直しを行い、個別支援目標が利用者への押し付けにならないように配慮し、個別支援計画のレベルアップも図りながら事業計画どおりに利用者支援を行いました。

また、本年度も施設内職員研修を4回実施し、職員のモットーに「優しさ、気遣い、思いやり」が決定しました。

## 実施内容

### 1 個別支援計画

利用者の希望を的確にアセスメントしながら、ニーズの把握・整理を適切に行い個別支援計画と支援目標を作成した。

福祉サービス提供者として、支援目標に沿った支援を実践し、また、クラブ活動、余暇活動等に参加することで、自立意識の向上、生活意欲の向上を図り、具体的に支援目標に沿った支援に取り組んだ。

### 2 居室環境の整備・グループ別援助の分担

利用者が心豊かな生活を送れるように様々な行事を計画し余暇の充実等を図り生活の質の向上に取り組んだ。

3 利用者の地域生活移行への取り組み

本年度の地域移行者はいなかった。

4 職員のレベルアップ

内部研修会を4回行い職員の資質向上に努めた。

5 苦情解決

苦情受付 1件 苦情解決 1件

6 施設状況

定員 40名 現員 37名

平均年齢 66.2歳 最年少 32歳 最年長 87歳

平均在所期間 20年8ヶ月 最長在所期間 64年

新規入所者 3名 退所者 2名

7 行事実績表

レクリエーション	
月	内容
4月	花見(3/30)(木)(前年度中に行う)
	昼食お弁当選択メニュー(4/19)(水)
5月	祭り(5/16)(火)
	おやつ選択メニュー(5/24)(水)
6月	おやつバイキング(6/28)(水)
7月	七夕祭り(7/7)(金)
	爽やかレクリエーション・昼食弁当(7/11)(火)
	昼食選択メニュー(7/28)(金)
8月	おやつバイキング(8/16)(水)
9月	還暦・喜寿祝賀会(9/5)(火)
	おやつ選択メニュー(9/6)(水)
10月	祭り(10/3)(火)

	昼食主食バイキング(10/17)(火)
11月	おやつ選択メニュー(11/8)(水)
	ゲーム大会・昼食弁当(11/14)(火)
	合同文化祭(11/16)(木)
12月	クリスマス会・昼食弁当(12/22)(金)
1月	雑煮(1/5)(金)
	ぜんざい(1/10)(水)
2月	節分(2/2)(金)午後
3月	ひな祭り(3/1)(金)午後
	昼食選択メニュー(3/13)(水)
年間	1.防災避難訓練(月1回)
	2.誕生日会(毎月第2木曜日10:00～、12月は第1火曜日)
	3.特別相談(随時)
	4.給食相談(随時)
	5.地域美化活動(随時)
	6.富田幼稚園・小学校との交流(随時)
	7.富田地区との交流(随時)
	8.企画会議(随時)
	9.相談員・介護職員会議(毎月第4木曜日、11月は第5木曜日)
	10.ケース会議(毎月第4木曜日、11月は第5木曜日)
	11.職員研修(5/9(火)・8/8(火)・11/7(火)・2/6(火)、10:00～11:00)
	12.移動図書(毎月第4水曜日14:40～15:10)
	13.懇談会(隔月第2木曜日13:30～、12月は第1火曜日)
	14.エアロビクス(毎月第2・4水曜日)→外部講師
	15.銭太鼓クラブ(毎月第1・第3木曜日)→外部講師
	16.お花クラブ(毎月第4月曜日)→外部講師
	17.お楽しみ会(月1回)